

## 第15回地域連携手帳委員会議事録

日時 平成26年8月21日 (木) 13時30分～  
会場 新津医療センター病院 大会議室

### 1 地域連携手帳の現状と問題点

- ・手順と運用実態と合っているか  
手帳の発行元が介護支援専門員ではなく、介護事業所である。  
もともと、介護事業所の連絡手帳として発行されたことによる。  
基本的には介護支援専門員から渡すことをケアマネ部会で諮ってもらい原則に戻す。・・・訪問介護などまで浸透できないため。
- ・認知症の用紙については新潟市のものができた段階で改定
- ・ケアマネが説明した形で行えるように。
- ・ホームページに運用方法を掲載する方向で検討する。

### 2 連携手帳の発展的利用

- ・むすびあい手帳  
シート7；生活や支援の工夫  
現在はグリーンの用紙に記載している。むすびあい手帳の運用を見ながら検討していく。

### 3 医療介護連絡網の確認

- ・前回からの指摘で修正したので配布。  
随時、訂正や追加をおこない完成させたい。

### 4 地域連携手帳の増刷済み

- ・1000部、約2年分

### 5 新潟市認知症連携手帳の現況について

- ・新潟市江南区で運用開始  
700部が稼働

### 6 新潟市医師会在宅医療IT連携について

- ・主な施策は別紙資料のとおり  
地域医療再生基金約500億円を投入  
金額的には困難であるが、ともかくやってみよう。  
電子カルテとの連携など考えている模様。  
県内では1.2億円の予算で医師会、済生会第二病院、齋藤クリニックで申請し実施。低コストで持続可能な体制を構築する。

### 7 その他

次回 10月16日(木) 13時30分

会場 新津医療センター病院 会議室にて開催

以上

第15回地域連携手帳委員会（略称：手帳委員会）

平成26年8月21日

1. 連携手帳の現状と問題点

連携手帳の運用法について

2. 連携手帳の発展的利用

「むすびあい手帳」

シート7；生活や支援の工夫 →次回検討

3. 医療介護の連絡網の確認

4. 地域連携手帳の増刷済み

1000部、約2年分

5. 新潟市認知症連携手帳：「むすびあい手帳」の現況について

江南区 試みの運用開始、約700部が稼働

6. 新潟市医師会在宅医療 IT 連携

7. 第12回新津地域医療福祉連携協議会；平成26年11月14日（金）

9月 プログラム発送予定

8. その他

次回手帳委員会；平成26年10月16日（木）午後1時30分から  
新津医療センター病院大会議室

## 地域連携手帳の運用方法

### 発行、記載、保管

1. 介護保険サービスを利用するようになった際、ケアマネージャが利用者に連携手帳の内容を説明し、同意書に署名をもらい、連携手帳を発行する。
2. 施設利用時に、連携手帳を渡し、手帳の内容や具体的な使用方法を説明する。
3. 利用者から基本情報欄に記入してもらい、事業所がその内容を確認する。
4. 介護サービスを利用した際に、施設職員が介護情報欄に状況を記入する。
5. 医療施設利用時に、医師、歯科医師が診療内容を記入する。
6. 薬局で調剤後、お薬手帳に内容を記入し、手帳をビニールケースに格納する。
7. 連携手帳は、利用者の責任のもと利用者が保管する。
8. これまで新津地区の介護関係で運用されてきた連絡ノートは、そのフォルダに連携手帳の用紙を追加して使用する。
9. 分厚くなった連携手帳は適宜分冊する。新しいものをフォルダにファイルし、以前のものは利用者が保管する。



新潟市医師会  
在宅医療 IT 連携

新潟市医療計画

1. 主な施策

拠点の整備

関係機関の連携促進

救急医療機関も含めた IT による患者情報の共有化ツールの作成を推進

人材確保

市民への普及啓発

地域包括ケアシステムの構築

2. 在宅医療推進 4つの柱

日常の療養生活の支援

急変時の対応

退院支援

終末期医療

地域医療再生基金；約 500 億円

各都道府県を対象に、平成 25 年度までに事業を開始

災害時の医療の確保事業

医師確保事業

在宅医療推進事業；予算約 1.2 億、県内 5 カ所（新潟市、新発田市など）

新潟市医師会、済生会第 2 病院、斎藤内科クリニックの連名で申請

在宅医療連携拠点事業

新潟市在宅医療 IT 連携事業

全市域で患者情報の伝わる低コストで持続可能な体制の構築

第1回 新潟市医師会在宅医療IT連携運営委員会 参加者名簿

<委員>

| 氏名     | 所属                        |
|--------|---------------------------|
| 羽柴 正夫  | 新潟医療技術専門学校 救急救命士科 学科長     |
| 吉田 俊明  | 済生会新潟第二病院 院長              |
| 五十嵐 昭夫 | 新潟市医師会 理事                 |
| 石井 哲也  | 居宅介護支援事業者協議会 会長           |
| 岡村 和気  | しもまち地域連携ネットワーク 世話人        |
| 國井 洋子  | 新潟市薬剤師会 副会長               |
| 黒崎 功   | 白根健生病院 病院長                |
| 豊島 宗厚  | 新津医療センター 院長               |
| 内藤 雅晃  | ないとう泌尿器科クリニック 院長          |
| 中川 恵子  | 新潟県訪問看護ステーション協議会 副会長      |
| 成瀬 聡   | 総合リハビリテーションセンター・みどり病院 病院長 |
| 広瀬 保夫  | 新潟市民病院 救命救急・循環器病・脳卒中センター長 |
| 福田 喜一  | 潟東クリニック 院長                |

<事務局>

|       |             |
|-------|-------------|
| 遠藤 正人 | 新潟市医師会事務局長  |
| 井浦 健吾 | 新潟市医師会事務局主事 |

<関係機関>

|        |                          |
|--------|--------------------------|
| 月岡 恵   | 新潟市保健衛生部保健所長             |
| 高井 彰   | 新潟市保健衛生部保健所保健管理課長        |
| 田代 敦志  | 新潟市保健衛生部医監               |
| 馬場 巳一郎 | 新潟市保健衛生部保健所保健管理課地域医療推進室長 |
| 清水 智子  | 新潟市保健衛生部保健所保健管理課主幹       |
| 井上 道昭  | 新潟市保健衛生部保健所保健管理課主査       |
| 関根 伴和  | 新潟市保健衛生部保健所保健管理課主査       |